



## 1 合気道着の支援をいただきました

福島県青年海外協力隊を支援する会の皆さんから合気道の道着の支援を受け取りました。ありがとうございました。東ティモールでは武道がとても人気があり、合気道も盛んに行なわれている武道の一つです。しかし、道着が高価なため、現在メンバーが着ている道着の大半が以前に日本から頂いたものであり、稽古に熱心に取り組んでいるためか、傷んだ

道着を着ているメンバーがとても多いです。

そこで今回、同期の合気道隊員が指導している町道場への支援として、合気道着をお渡ししてきました。大変喜んでいただき有効に活用して頂けそうです。



東ティモール合気道協会  
会長アノさんへ



稽古に取り組む姿勢は真剣

## 2 今月は総選挙がありました



道路を封鎖するほどの活況

5月12日に選挙がありました。選挙期間は暴動が起りやすく、外国人は標的になりやすいことから、いつも以上の注意が必要な期間でもありました。実際に選挙は盛り上がり、政党の応援、投票のための帰省など1週間近く仕事もストップ状態でした。

実はこの選挙、本来は5年に1度の総選挙で去年行われています。しかし、選挙後の予算案が議会を通らず、今回改めて再選挙となりました。

自分の配属先の教育文化省では、予算がないから仕事ができないと話している同僚がいるので、少しでもこの状態が改善できることを望みます。

## 3 配属先の活動

今月は聾学校などで竹かご作りが始まりました。最初に作って見せてみると、興味を持ってくれて感触がとてもいいです。

また、5月中旬には沖縄から城間紅型(べにがた)工房の職人さんがワークショップを通じた技術の紹介にいらっしゃいました。東ティモールは小さい国なので、このような支援のイベントがあると情報が得られやすいのが嬉しいです。

## (1) 一緒にかご作り

今月からアガペ豊学校とBUFOという環境系のグループと一緒に竹かご作りを行いました。みんな真剣に取り組んでくれたのと、東ティモール人特有の手先の器用もあって、あっという間に出来上がりました。地元の人が求められているものをよく聞き取って、魅力あるものを一緒に作りしたいと思います。



BUFOと呼ばれるグループと記念撮影(左)と作業の様子(上)



アガペ豊学校での見本を作成

## (2) 沖縄から城間紅型工房の職人さんが来東

このワークショップを企画したソプラノ歌手の宮良多鶴子さんからの依頼で紅型を紹介する場として織物を作成しているTimor-AIDのグループを紹介しました。

当日は約30人のタイスの職人さんや学生が集まり、紅型のコースター作りを体験しました。職人さん同士の自然染料の作り方などの技術的な話で交流を深めました。

戦後、相手を憎まず平和を受け入れた沖縄と東ティモールには通ずるものがあるという宮良さんの話が感慨深かったです。



紅型の説明の様子



染料の塗り方を体験



職人さんの製作に興味津々

## 4 マングローブを植えよう

国際生物多様性の日(5月22日)にマングローブを植えるというプログラムに参加してきました。近年、石油工場の建設により、マングローブが消滅してしまった場所を回復させる目的で、地元のグループが中心となり、定期的を開催しているそうです。今回は、企画に携わってる先輩隊員に声をかけていただき、参加してきました。

足がぬかるみにはまったり、泥だらけになりながらの作業でしたが、全身で自然と向き合うという、なかなかできない良い体験ができました。《第8号終わり》



マングローブを植林